



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 能美防災株式会社

コード番号 6744 URL <http://www.nohmi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋爪 毅

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部担当

(氏名) 曾田 義則

TEL 03-3265-0214

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	52,810	3.8	1,548	—	1,676	—	723	—
23年3月期第3四半期	50,895	△4.7	△171	—	19	△98.5	△31	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 628百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △181百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	11.98	—
23年3月期第3四半期	△0.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	79,840	—	53,091	—	—	65.1
23年3月期	80,390	—	53,398	—	—	65.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 51,982百万円 23年3月期 52,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年3月期	—	7.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,500	1.9	3,000	1.9	3,300	0.1	1,900	1.8	31.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	60,832,771 株	23年3月期	60,832,771 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	502,124 株	23年3月期	493,026 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	60,335,202 株	23年3月期3Q	60,349,703 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から緩やかに持ち直しているものの、欧州の政府債務危機等により世界的な景気の先行きが不透明であることから、依然として厳しい状況にあります。

当防災業界におきましては、需要低迷が続くなか、市場の動向にあまり変化はみられず、なお厳しい受注環境となっております。

このような環境のなか、当社グループは市場のニーズに応えるべく積極的な営業活動と収益改善に努めました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は52,810百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。

売上高の内訳をセグメント別にみますと、火災報知設備は18,454百万円（前年同四半期比3.7%減）、消火設備は16,626百万円（前年同四半期比14.1%増）、保守点検等は14,475百万円（前年同四半期比4.0%増）、その他は3,254百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

利益につきましては、営業利益は1,548百万円（前年同四半期は営業損失171百万円）、経常利益は1,676百万円（前年同四半期は経常利益19百万円）、四半期純利益は723百万円（前年同四半期は四半期純損失31百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、未成工事支出金5,315百万円の増加等があったものの、受取手形及び売掛金3,586百万円の減少、現金及び預金2,354百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ549百万円減少し、79,840百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は193百万円の減少、固定負債は48百万円の減少となり、負債合計は前連結会計年度末に比べ241百万円減少し、26,749百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金183百万円の減少、その他有価証券評価差額金122百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ307百万円減少し、53,091百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期業績予想につきましては、平成23年5月10日に公表した予想数値に現時点での変更はございません。

なお、当社グループの売上高は建設業界の影響を受ける部分が多いため、下期、特に第4四半期に集中する傾向があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の算定方法

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,297	16,942
受取手形及び売掛金	24,888	21,301
有価証券	2,000	2,000
商品及び製品	2,550	2,767
仕掛品	1,037	844
原材料及び貯蔵品	3,496	3,808
未成工事支出金	3,430	8,746
その他	2,104	2,488
貸倒引当金	△259	△235
流動資産合計	58,545	58,664
固定資産		
有形固定資産	12,377	12,010
無形固定資産		
のれん	64	52
その他	1,411	1,307
無形固定資産合計	1,476	1,359
投資その他の資産		
投資有価証券	2,969	2,856
その他	5,188	5,100
貸倒引当金	△167	△150
投資その他の資産合計	7,990	7,806
固定資産合計	21,844	21,176
資産合計	80,390	79,840
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,763	8,523
短期借入金	33	32
未払法人税等	1,089	708
賞与引当金	2,357	998
完成工事補償引当金	38	13
工事損失引当金	379	507
その他	7,978	9,662
流動負債合計	20,641	20,448
固定負債		
退職給付引当金	5,328	5,291
役員退職慰労引当金	598	587
資産除去債務	15	14
負ののれん	6	3
その他	402	403
固定負債合計	6,350	6,301
負債合計	26,991	26,749

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,302	13,302
資本剰余金	12,745	12,745
利益剰余金	26,510	26,326
自己株式	△246	△250
株主資本合計	52,312	52,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110	△11
為替換算調整勘定	△98	△129
その他の包括利益累計額合計	11	△141
少数株主持分	1,074	1,108
純資産合計	53,398	53,091
負債純資産合計	80,390	79,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	50,895	52,810
売上原価	36,696	36,989
売上総利益	14,199	15,820
販売費及び一般管理費	14,370	14,272
営業利益又は営業損失(△)	△171	1,548
営業外収益		
受取利息	24	20
受取配当金	25	30
保険返戻金	15	15
負ののれん償却額	7	3
持分法による投資利益	48	63
その他	194	177
営業外収益合計	316	311
営業外費用		
支払利息	2	3
貸貸費用	41	42
売上割引	42	41
為替差損	20	38
損害賠償金	2	35
その他	14	22
営業外費用合計	124	183
経常利益	19	1,676
特別利益		
負ののれん発生益	—	16
投資有価証券売却益	—	2
前期損益修正益	30	—
貸倒引当金戻入額	17	—
特別利益合計	48	19
特別損失		
投資有価証券評価損	3	27
固定資産処分損	28	26
その他	—	4
特別損失合計	31	59
税金等調整前四半期純利益	36	1,637
法人税等	△5	834
少数株主損益調整前四半期純利益	41	802
少数株主利益	73	79
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△31	723

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	41	802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	△123
為替換算調整勘定	△160	△52
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	△223	△174
四半期包括利益	△181	628
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△190	570
少数株主に係る四半期包括利益	8	58

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	火災報知 設備	消火設備	保守点検等	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,165	14,577	13,918	47,662	3,233	50,895	—	50,895
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46	96	0	143	141	285	△285	—
計	19,212	14,674	13,919	47,805	3,375	51,181	△285	50,895
セグメント利益	358	916	1,752	3,026	275	3,302	△3,473	△171

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場設備、防犯設備等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,473百万円は全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	火災報知 設備	消火設備	保守点検等	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,454	16,626	14,475	49,555	3,254	52,810	—	52,810
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47	61	0	109	144	253	△253	—
計	18,501	16,687	14,475	49,664	3,398	53,063	△253	52,810
セグメント利益	1,063	1,893	1,885	4,843	192	5,035	△3,487	1,548

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場車路管制システム等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,487百万円は全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

第1四半期連結累計期間において、火災報知設備で16百万円の負ののれん発生益を計上しております。これは、当社連結子会社である八洲防災設備(株)の株式の一部を取得したことにより発生したものであります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。